

資源化センター焼却施設の今後の維持整備費について

1 維持整備計画の見直し

豊橋田原ごみ処理施設整備事業が延伸され、施設稼働目標年度は、焼却施設が令和 9 年度末となりました。

これに伴い、現施設の稼働年数も延伸になることから、令和 2 年度に資源化センター各施設の維持整備計画の全面的な見直しを行い、新たな施設稼働目標年次まで、施設の安定稼働を確保していくこととしました。

2 焼却施設の今後の維持整備費

主要施設であり、特に多額の費用を要する焼却施設の維持整備計画については、施設の長期停止に至るリスクのある機器類の計画的な維持整備を行うことに主眼をおくとともに、今後の定期点検結果や機器類の状態、施設稼働残余年数などを踏まえ、経済性も考慮しつつ、毎年見直しを行っていきます。

なお、下表は、今後の現焼却施設の稼働に必要な維持整備費の見込みを参考に示したものです。

表<焼却施設における今後の維持整備費>

区分	処理能力	R2 決算見込み	R3～R9 見込み
1・2号炉	200t/日×2炉	約 14 億円	約 115 億円
3号炉	150t/日	約 4 億円	約 21 億円
計		約 18 億円	約 136 億円

備考

- 1 維持整備費は、定期点検整備費と維持整備工事費の各見込み額の合計額を示します。
- 2 R3 以降の維持整備費は、現時点での見込みであり、今後の機器の状態などにより変動します。